

- 教育基本法
- 学習指導要領
- 東京都教育目標
- 大田区教育目標
- おおた教育振興プラン

学校教育目標  
 よく考え、進んで学習する子ども  
 いつも元気でしょうぶな子ども  
 こころ豊かでやさしい子ども

- 学校、地域の実態
- 子どもや保護者の思いや願い
- 運動会・文化フェスタ等を生かした活気溢れる教育活動

### 基礎学力の定着

#### <学校経営計画> (学力向上にかかわる要点)

- (1)基礎基本の徹底
- 新矢口モデル（思考・表現・活用を大切に授業）の実践
  - 2年生以上で算数科において習熟度別学習を徹底。コース別、放課後補習等で学力の向上を図る。
  - 本校独自のテストを学期毎に行い、80点以上の通過率を目標とする。
  - 漢字・計算ドリルタイム、読書タイムを朝の帯（15分）に実施。
  - 読書タイム・読書の授業を充実させると共に、月1回ボランティアによる読み聞かせを実施。学期に15冊以上読むキャンペーンを2学期に実施。
  - 毎日5分間のミニ学習を実施。（内容を計画的に配置）
- (2)家庭学習の徹底（夏季休業中に学習カルテを基にした三者面談の実施）
- 10分×学年を目標とし主に算数科や国語科の内容を重点とする。
- (3)「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活リズム形成や朝の長縄タイム・運動量のある体育を中心に工夫し、「生涯に渡る心身の健康作り」に取り組む。
- (4)学校行事（運動会・文化フェスタ等）や、田んぼや畑づくり体験を通して、関心意欲を高め、積極的に学び、思考力・判断力を学びの中で生かせるような「総合的な学習」を創る。
- (5)学校評価及び外部評価を充実させるために、全保護者・児童対象にアンケートを実施し、改善に繋げる。

- 各教科の指導の重点
- 基礎学力の定着と向上
  - 基礎的・基本的な知識、及び技能の定着と活用を図る学習活動の充実
  - 思考力・判断力・表現力を高める学習の計画的な配置

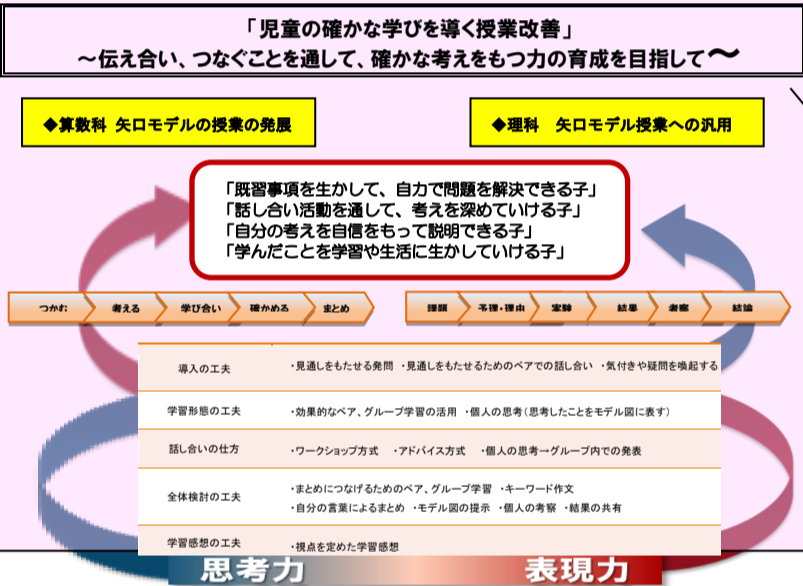
- 総合的な学習の時間の指導の重点
- 矢口文化フェスタ
  - 3年…地域商店街・カイク
  - 4年…社会科と連携した調べ学習・福祉の調べ学習と発表
  - 5年…稲作を核にした創造的学習
  - 6年…畑づくりを核にした創造的学習
  - 矢口自然農園の日常的取り組みと子どもの生活に生きる食育

- 進路指導の重点
- 勤労を尊び、最後まであきらめずに全力で目標に取り組ませる（矢口魂）
  - 自分の夢や希望に気付かせ、目標をもつことの大切さを教える

- 道徳教育の指導の重点
- 生命の尊さ、命の大切さ
  - 親切、思いやりの態度を身に付ける
  - 道徳的実践力の育成

- 特別活動の指導の重点
- 月1回の縦割りのなかよし班活動（共遊び・全校遠足・会食等）による異年齢とのふれ合い
  - 運動会・文化フェスタ等のスローガンの提案（計画委員会）で雰囲気づくり。

- 生活指導の重点
- 学校の決まり（規則）を守る態度の育成
  - 時刻を守って行動
  - 早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムの形成
  - 学習規律（おおたの子どもポスター）の徹底
  - 気持ちの良い挨拶・礼儀の奨励
  - 外遊びの奨励



本校の授業改善に向けた視点				
教育課程編成上の工夫	学習指導の工夫・改善	評価の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業時数の確保</li> <li>○指導計画の見直しと点検（学期毎に実施）</li> <li>○時程の工夫               <ul style="list-style-type: none"> <li>・20分の中休みと20分の昼休みで遊びの重視</li> <li>・朝の帯の活用（15分）</li> <li>・5分間（月～金）のミニ学習</li> <li>・5分間の歯磨きタイム</li> </ul> </li> <li>○補習教育の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・週4回の学年別放課後補習</li> <li>・夏季補習教室（3日）</li> </ul> </li> <li>○毎月第2土曜日の土曜授業日（3時間 振替なし）を実施</li> <li>○体力向上モデル校として、業間の活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3火曜日昼休みにクラス遊びを実施</li> <li>・毎月1回縦割り班による全員遊び</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区学習効果測定を中心に都等の結果分析に基づく児童の現状把握と改善策を明確にして公開する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期毎に漢字と計算の学校独自のテストを行い、結果と分析、次学期の対応策をHPにアップして公開。</li> </ul> </li> <li>○習熟度別学習（算数科）の取り組みと充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース別に合わせた教材・指導法の工夫</li> <li>・レディネステストの工夫</li> <li>・5分間のミニ学習実施内容の工夫と充実</li> <li>・2年生以上の学年で夏季休業中に学習カルテを基にした三者面談を実施</li> </ul> </li> <li>○「総合的な学習」の工夫と充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化フェスタ（年1回）                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の学習の成果を発表する場として活用。</li> <li>・取り組み内容の充実</li> </ul> </li> <li>・スローガンやマスコットを毎年工夫して児童の意欲を高める。</li> <li>●「矢口自然農園」                   <ul style="list-style-type: none"> <li>6年は畑、5年は田んぼで稲や野菜を育て、1年を通して学びの場とする。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明確な評価規準をもち、評価を計画的に行う。一人一人の子どもの見取りを確かなものとし、それに基づく的確な支援により学力の向上を目指す。</li> <li>○子ども自らが学習過程の足跡を振り返り、達成感やさらなる目標がもてるように、授業後の振り返りを必ず行う。</li> <li>○本校独自の漢字力及び計算力調査を学期ごとに実施する。80点の通過率や集計分析を次学期の指導法改善に生かすため、結果と差の対応策を公開する。</li> <li>○児童を認め励ます声かけや発表の場を工夫し、日常的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全員参加の研究体制の確立</li> <li>○教科横断的な視点での授業づくりや指導の工夫</li> <li>○初任、2、3年次教諭の校内研修を授業力向上研修とし、可能な限り全教職員参加で事前研・授業公開・協議会を行い、工夫ある指導法を提示し合い、即授業に生かせる手法を身に付けさせる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>（初任者研修3回）</li> <li>（2・3年次研修3回）</li> <li>（4年次研修 3回）</li> <li>（校内研究授業 年8回）</li> <li>（ミニ研修会の実施）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校経営方針や教科・学級経営案等の資料を全家庭に配布する。学校だよりやホームページでも児童の学力調査結果やその分析を基にした今後の学力向上のプランを公表することにより、学校教育への理解を深め、より質の高い連携を目指す。</li> <li>○家庭での学習習慣のさらなる定着を目指し、毎日必ず宿題を提示する。また、宿題以外の自主学習を定着させ、自分の課題に合わせた家庭学習に取り組ませる。</li> <li>○学習カルテを基にした三者面談で、具体的に個に応じた学習を提示する。</li> <li>○学校公開日を学期毎に設置し、外部評価を授業力改善につなげる。</li> </ul>